



カタクチイワシ

太平洋系群

主な漁業と漁期

未成魚・成魚
定置網:周年

カタクチシラス
船曳網:3月～翌年1月

生態

カタクチイワシはマイワシと同様に日本に生息する代表的な浮魚の1つです。

●分布・回遊

九州から北海道に至る太平洋の沿岸から沖合の黒潮域、黒潮続流域、黒潮親潮移行域、親潮域、さらに東経170度付近まで広く分布しています。

静岡県の周辺海域に分布するカタクチイワシは太平洋系群に属しています。

●産卵期・産卵場

産卵期:周年で、最盛期は4～8月。

産卵場:資源の低水準期には内湾から沿岸に形成され、高水準期には沖合まで広がります。



カタクチシラス

産まれて2か月程度で3cmほどに成長します(左写真)。



カタクチイワシ成魚

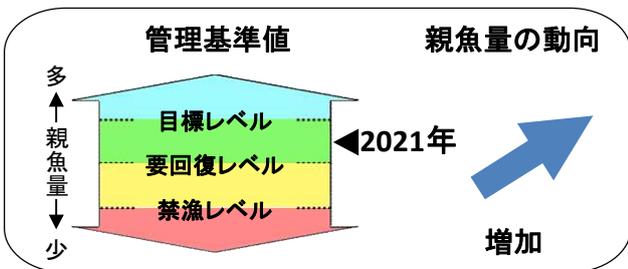
●成長・成熟

寿命は4年とされています。満1歳の被鱗体長は10～12cm程度、2歳では13cm程度で、海域によって多少の差があります。また、満1歳で成熟します。

漁業・資源動向

【資源】

カタクチイワシ太平洋系群は、最大持続生産量(長期的に漁獲量が最大となる資源状態を維持することで得られる漁獲量。以下、MSY。)に基づいた資源管理を行っています。



1 2021年の親魚量は7.9万トンと推定され、MSYを実現する目標レベル(11.2万トン)を下回っています。また、漁獲圧はMSYを実現する水準を上回っています。

2 親魚量の動向は、近年5年間の推移から増加と判断されています。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

詳細版

<https://abchan.fra.go.jp/hyouka/doc2022/>

用語解説

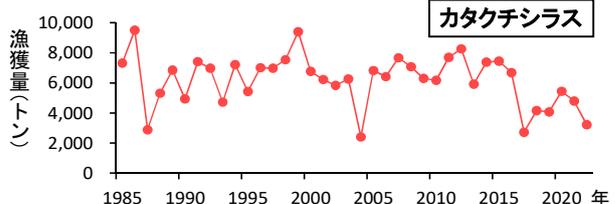
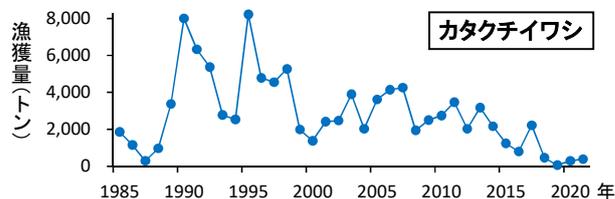
<https://abchan.fra.go.jp/about/yougo/>

【漁業】

1 静岡県では、未成魚・成魚は主にまき網や定置網、仔魚期はシラス(カタクチシラス)として漁獲されます。

2 県内のカタクチイワシ漁獲量は、1990年後半まで大きな増減を繰り返していましたが、2000年初頭に減少した後は横ばい傾向でした。2010年以降は増減を繰り返しながらも減少傾向にあります。

3 県内のカタクチシラス漁獲量は、2016年まで増減を繰り返しながらも横ばい傾向でしたが、2017年に大きく減少しました。2018年以降は横ばい傾向にあります。



静岡県のカタクチイワシ(上)、カタクチシラス(下)の漁獲量

担当者の一言:静岡県のカタクチシラスは鮮度が抜群。全国的にも高い評価を受けています。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所資源海洋科 054-627-1817